

世界のサボテン利用

世界では観賞用だけでなく、食用や家畜飼料、染料など、さまざまな使い方でサボテンが利用されています。

食用では茎や果実が使われていて、茎はサラダや肉料理の付け合わせに、果実は生のままで食べたり、ジュース、菓子類の原料として利用されます。食用サボテンにはぬめりがあるため、パサついたり飲み込みにくい肉類と相性が良いそうです。また、加工品としてサプリメント、石鹼や化粧品の原料にもなります。

乾燥地域で栽培でき、水分を多く含むことから、乾燥地や干ばつ時の家畜飼料にも利用されています。

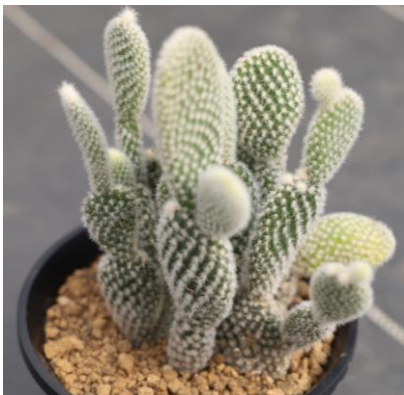
出典：堀部 貴紀「食用ウチワサボテンの生産と産業利用」2017年



Pick Up! サボテン

和名 白桃扇（はくとうせん）

学名 *Opuntia microdasys* var. *albispina*



ウチワサボテンの一つで、白くてふわふわした見た目が可愛らしいサボテンです。小さいわりに育てやすく、寄せ植えに加えるだけで見栄えが良くなります。